
詩集

歌うたうもの

奏～かなでうた～詩Ⅱ

✿ 添見奏音 ✿

ひな鳥たちへ

不器用な子に生まれたね
それで失敗ばかりだね
あまりに不器用すぎるから
泣き方さえも知らないの

愛想笑いでごまかして
波風立てずにいるのにね
面白がつてる子たちがさ
石をどぶんと投げるんだ

やめて やめてよ
いくら心で叫んでも

SHO・BU・N

いくら物を処分しても

本当に捨てててしまいたいものは

いつまでもそこに残り続けるんだよ

キミヲテラスヒカリ

独りぼっちだと

膝を抱えてうずくまる

どちらに進めばいいのか

誰も教えてはくれない

意味もなく焦って

時間を無駄に費やしても

抗った数だけの答えは

きつと 手にしているはずだから